

《株式会社エフエム東京 第412回放送番組審議会》

1. 開催年月日:平成26年10月7日(火)
2. 開催場所 :エフエム東京 本社10階 大会議室
3. 委員の出席:委員総数6名(社外6名 社内0名)

◇出席委員(5名)

渡辺 貞夫 委員	香山 リカ 委員
内館 牧子 委員	秋元 康 委員
西田 善太 委員	

◇欠席委員(1名)

横森 美奈子 委員長

◇社側出席者(11名)

富木田 代表取締役会長
千代 代表取締役社長
唐島 専務取締役
石井 常務取締役
平 常務取締役
山科 常勤監査役
藤 取締役 マルチメディア放送事業本部長
村上 執行役員 編成制作局長
延江 編成制作局 ゼネラルプロデューサー
宮野 編成制作局 編成制作部長
松任谷 編成制作局 番組プロデューサー(オブザーバー)

◇社側欠席者(0名)

【事務担当 村上放送番組審議会事務局長】

4. 議題: 番組試聴 (約25分)

『オールドマスター・90歳のスポーツジャーナリスト〜もうひとつのゴール』

2014年9月21日(日) 26:00~27:00 放送

《議事内容》

議題 1:最近の活動について

■2014 年 8 月度 聴取率調査結果について

2014 年 8 月の首都圏ラジオ合同聴取率調査結果が、ビデオリサーチより発表されました。(調査対象期間:8 月 25 日～8 月 31 日)

今回は、【男女 12-59 才】ではスコアは前回より1ポイント上げ、J-WAVE と並んで在京局中トップ、メインターゲットである【M1F1 層】、また【男女 20 代】区分でも全日平均で在京局単独トップを獲得しました。リーチについても、【男女 12-59 才】で他局に差をつけ単独トップを獲得することができました。

また、平日ワイド番組も上昇基調にあり、平日 6 時から 20 時までのワイド8番組すべてにおいて、【F1 層】、【20 代女性】において単独トップを獲得することができました。平日の男性層と、日曜日のスコアについてはまだ課題を残しており、引き続き、高いリーチの維持と、継続聴取分数のさらなる増加を目指して、企画の精査、広報 PR の強化に取り組んで参ります。

今回、【男女 12-59 才】での同率首位は 10 年ぶり、【M1F1】での単独トップ奪回は 12 年ぶりとなりました。今後も引き続きリスナー第一主義の番組づくり、共感のある放送を心がけ、さらなる聴取率向上に向けて努めてまいります。

■10 月改編について

10 月 1 日(水)より秋の番組改編を行いました。今回は、出演者変更を含む改編率 11%となります。主な変更点は以下の通りです。

1)「SCHOOL OF LOCK! 」(38 局フルネット)

この 10 月で番組開始から 9 周年を迎えた「SCHOOL OF LOCK!」を、10 年目の新たなステージに向かってリニューアルしました。

* 土曜 22 時に「SCHOOL OF LOCK! Saturday」を新設。パーソナリティに長渕剛を迎え、30 分の「長渕 LOCKS! 」をスタート。「炎の生活指導」の先生として、10 代リスナーとの電話などを通して向き合います。

* 2012 年 4 月から出演していた「よしだ教頭」が卒業。10 月 6 日(月)より、新たに「あしざわ教頭」を迎えて、月～金曜の放送をリニューアルしました。

2)「EARTH RECORDS」(東京ローカル)

月～水曜 20:00～20:55 を、「タイムレス・ボーダレス」「レストーク、モアミュージック」にこだわり、地球上に存在する名曲の数々を選びすぐってオンエアする音楽番組をスタートしました。仕事とプライベートが交差する、夜 8 時という時間帯に、残業中の会社で、仕事帰りの車で、帰宅時や駅のホームで…パソコンやスマホでラジオ

を楽しむリスナーにフィットする夜の音楽番組を届けます。

【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見／「■」社側説明)

○若い人がラジオに戻ってきたという話を最近よく聞く。
たまたま 9 月に小学 6 年生の女の子の新聞の投書を見つけたので内容を紹介する。

最近よくラジオを聴いている。

きっかけは、ラジオつき CD プレイヤーで、CD を聴こうとして間違えてラジオのボタンを
押ししまったとき、ちょうど大好きな曲がオンエアされていたことだった。

ラジオは震災時にニュースを知るためのものだと思っていたので、驚いてしまった。

その後私は暇があれば聴くようになった。

夏休みには曲をリクエストし、オンエアされたことが一つの思い出になっている。

新しい情報の入手先になり、イベントや曲を知ることにもつながっている。

新たに好きなアーティストも見つかった。

ラジオの魅力を知ったことで、聴こうとしなかった自分の思い込みの強さにも気づいた。

これからは苦手なことや知ろうとしなかったことをチャレンジしよう。

M1F1 層はテレビドラマを書いていると一番欲しい層が聴取率でトップをとれている。
12 歳ぐらいの子に PR すると、お父さんお母さん、お姉ちゃんお兄ちゃんもついてくる
かもしれない。

■数年前からよみかかせのコンテンツをワイド番組の中で放送している。我々のターゲットである母親層と、未来のリスナーになってほしいその子供たちと一緒に聴いていただくという企画だ。また、夏休みに子供たちがスマホやタブレットでラジオの仕事を体験できるアプリをリリースした。

ディレクター気分になって遊べるほか、曲紹介を子どもがアプリに吹き込むと、その音声
を局にメールで送れ、実際に「Blue Ocean」の中でオンエアされるという企画を今も
続けている。幼少期からのラジオの体験を提供することを目的としている。

○聴取率の調査では、ラジオを聴いている人たちが全体ではどのくらい増えているか、
または減っているのかというデータは分かるのか？

■ビデオリサーチの調査は、あくまで抽出されたサンプルの中の統計だが、実際のラ
ジオの SIU(到達率)はだいたい今、6～7%で推移している。長い時系列でみると、ラ
ジオの聴取人口は減っているため、若いリスナーとの接点を増やしていくことで、それ

を食い止めたいと思っている。

○ペットの番組が始まったが、ペットからの視線で、子どもたちともつながりができたら面白いと思う。

■大人だけでなく子どもも含めて全世代アクセスできる番組を目指している。

○聴取率はここ何年か上がってきている印象だ。ビデオリサーチ調査の 3,000 サンプルの年齢区分はどうなっているのか？

■サンプルの年齢は人口区分に沿って振り分けられている。

○radiko の利用状況はどうか？

■年々利用数は延びてきており、エリアフリーの有料サービスの「radiko.jp プレミアム」の方の利用も伸びている。野球目当ての人がナイターオフにやめるのではないかとという危惧があったが、10 月に入ってもまだその傾向はない。

○SOL の出演者変更は結構大きな改編だと思うが、リスナーの方々の反応はどうか？

■9 周年を迎え、10 年目に入っていく中で、起爆剤となることを狙って新しい教頭を迎えた。芦澤さんはもともと TOKYO FM の深夜番組をやっていたが、我々としてもパーソナリティの育成という視点で、新しいステージに行ってもらった。

長渕剛さんはこれまでの SOL とはまた違う、熱い魂を吹き込んで下さる方。期間限定で半年間の予定ではあるが、年末年始にかけて受験など、10 代が悩みに直面する時期にエールを送ってほしいと考え迎えた。10 代の反応は高い。恐らく新商品として、こんな熱い人がいるんだという発見になっていると思う。

議題2: 番組試聴 (約25分)

【番組名】 『オールドマスター～90歳のスポーツジャーナリスト・賀川浩の世界』

ナレーター:羽田美智子

出演:賀川浩(スポーツジャーナリスト)

:岡田武史(元サッカー日本代表監督)

:セルジオ越後(サッカー解説者)

【放送日時】 2014年9月21日(日) 26:00～27:00放送

【番組概要】

本日試聴いただくのは、今年で90歳になるスポーツジャーナリスト、賀川浩氏の姿を描いた特別番組です。

日本のサッカー界をずっと誰よりも冷静に、誰よりも暖かく、見つめてきたスポーツライター、賀川浩。

当時中学生だった元サッカー日本代表、岡田武史氏に出会い、その時期での渡独を早すぎると止めたのも、40年前、ブラジルに帰ろうとするセルジオ越後氏を日本に留まるよう働きかけたのも、賀川浩でした。

それから、三浦カズ、中田英寿をはじめ、ほぼすべての歴代日本のイレブンたちが、セルジオ越後からの辛口アドバイスを胸に、夢であった世界の舞台ワールドカップへ進出。もし、賀川浩がいなかったら、セルジオ越後がブラジルに帰っていたら、その後の日本のサッカーは、どうなっていたのでしょうか。

今年、セルジオ越後氏は、恩人である賀川さんをワールドカップの聖地ブラジルに誘い、日本代表の試合を共に現地で観戦しました。その現地での音も交えて、賀川浩が見る日本、世界のサッカー、その想いに迫りました。

【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見／「■」社側説明)

○現地に同行して取材したのか？

■現地に行く予定になっていた人に企画趣旨と狙いを説明し、機材を託して音を録ってきてもらった。が、一度ブラジルで機材が盗難に遭い、残った素材で構成したというハプニングがあった。

○もっと対話が聴きたかったという印象だ。80歳を超えた人、特に一つのことを追求した人の話には学ぶことが多い。賀川さんの飄々とした性格と上品な関西ノリに興味は湧いたが、彼自身のことが、今のダイジェストでは消化不良だったので、もう一步楽し

めなかった。

○聴いたダイジェスト部分だけで言うと、全然面白くなかった。賀川さんの語りや思い出話を通じて年齢ばかりが認識された。もっと彼のジャーナリストとしての現役性を出さないと、ただ高齢の人が頑張っているのを持ち上げているだけに聴こえる。作る側がポイントを何に合わせているのかが問題だ。90歳の現役がすごい、というだけでは番組にならない。岡田さんの「賀川さんは試合ごとに一喜一憂しないのが素晴らしい、もっと先を見ている」というのは、良いコメントだと思った。作り手側で、ここにもっとポイントを置けば良かったのではないか。羽田さんのナレーションは良かったが、描けていない部分をナレーションや手紙で補うのは、シナリオ学校の初心者がやる手法だ。賀川さんの人間性を描く上では、彼にここまで語らせずに、周りのエピソードで構成した方が良かったのではないか。

○まず、89歳の現役記者というこの賀川さんを題材に選んだことは素晴らしい。気になったのは、構成的に誰の声が誰か分かりにくかったのと、セルジオさんとのもう一つのゴールを描きたいのか、賀川さんを紹介したいのかが分からなかった点。賀川さんの紹介に絞り、それを描く一つとして、セルジオさんの話が出てくればよかったのではないか。

構成については、冒頭に何を持ってくるかがすごく大事。自分なら、「サッカーに負けても捕虜になるわけじゃないからな」という戦争体験もある賀川さんの人生を滲み出したこの究極の言葉を最初に持ってくる。

「もう一つの〇〇」というありがちなタイトルや、番組が仕込んだであろう手紙は心を打たなかった。それより、30年前のベッケンバウアーの話をまだ聴きたかったと思っている記者魂、嬉々として聞いている姿にこの人のサッカーへの想いや記者としての力がある。賀川さんというせっかく良い素材を思いついたのだから、この人の人となりや、温かくサッカーを見続けている彼と、周辺の人々とのもっと生き生きとした会話を通じて、記者としてどんなところがすごいのかをもっと引き出してほしかった。

○今回この番組を通じて賀川さんという人を知ることができたのは嬉しい。番組全体としては取り留めがない感じがした。音楽の演出などでも、賀川さんの年齢を持ち上げているのが見え見えなので、もっと淡々と演出してほしかった。岡田さんやセルジオさんから見た賀川さんの話も面白かったが、岡田さんは個別のコメントだったので、3人で会って話せたらもっと面白くなったのではないか。手紙の演出はやりすぎだった。新聞記者だから書けるが、頼まれた方はつらかったのではないか。番組の中ではいくつか良い話やシーンがあった。コートジボワールに負けた後、海辺でサッカーの反復練習を波に例えていた話には自分でも深く共感した。

○この方を取材してみようと思ったきっかけは？

■セルジオ越後さんへの取材の中で、賀川さんの存在を知った。

サッカー業界ではもともと有名な方だったが、今回の W 杯でいろいろなメディアで採り上げられた。現在はご自身のサイトや地方紙で記事を出している。

○みんなが知っているわけではない方を果敢に採り上げたことを評価したい。特攻隊に出願したけど出撃しなかったなど、いろいろなことを経験、目撃されてきた方なので、本当に知ろうとしたら、短期間の取材ではとても扱いきれないと思う。それで、こういう方がいるという紹介になったのだと思うが、何を核として採り上げるのか、今回はプロフィール紹介的に留めるのか、判断が難しかっただろうと思う。

○佐村河内さんの一連の件をBPOで審議しているが、元は彼の自伝を基に、あるメディアが番組にしたところ、それを他のメディアが参考にしてさらに採り上げるというおかしな連鎖反応が起きることで、嘘が積み重なっていった。みんなが知っている人だからさらに採り上げる、という循環に各メディアが陥りがちな中、今回のように一般的にはそれほど知られていない人をあえて採り上げた姿勢は素晴らしかったと思う。だからこそ、この番組はどの点にフォーカスするのが重要だったと思う。

○例えば、賀川さんがW杯の取材は10回目だと言っていることについて、真実なのかの裏は取るのか？

○その証拠を見せろとはなかなか言えないのでは。

そこまでは調べないからこそ、新聞などでも誤報道が起きるのではないか。

■取材にあたり神戸のご自身のオフィスに伺った際に、昔の記事などを見せていただき、それで真実だと判断した。

○経歴やプロフィールなどは、言ったもの勝ちなところもあるので、番組審議会としては、その真偽についてチェックすることはあってもいい。

5. 放送番組審議会の内容について

審議会の意見は、放送番組審議会事務局から各担当部長に伝達した。

6. 公表

議事内容を以下の方法で公表した。

- ① 放送: 番組「SPO☆LOVE」
10月25日(土)5:00～7:00放送

<第 412 回放送番組審議会 議事録>

- ② 書面:TOKYO FM サービスセンターに据え置き
- ③ インターネット:TOKYO FM ホームページ内 <http://www.tfm.co.jp>

7. その他

次回の放送番組審議会を、11月11日(火)に開催することを決めた。

以上